

全国港湾Fax通信

No.

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番) 全国港湾20FAX第84号
(宛先)	2021年 4月27日 時 分
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者)
(件名)	全国港湾書記局 

21 港湾春闘情報(3)

(本文) 21 港湾春闘は4月15日に長期休憩としていた第4回(続開)中央港湾団交を開催した。日港協は(仮)協定と覚書(案)を提示した。組合側は、団交の前日(4月21日)に開催した合同中央闘争委員会での状況分析、折衝の中で協定案に盛り込まれている内容を再確認し、16:30に妥結した。各単組においては賃上げに向けた交渉に積極的に取り組み、大詰めを迎えており、4月26日現在の各単組取り組み状況について下記の通り報告する。

1. 各単組の取り組み状況について(4月26日現在)

- (1) 全 港 湾
 - ① 3月1日までに要求書を提出し、スト権集約も3月1日までとした。回答指定日3月15日を第1回回答指定日とした。要求は、基本給一律20,000円、65歳までの定年延長、労災補償の引き上げ、初任給の引き上げ、伝染病等の休業補償を求めた。
 - ② 158分会中72分会に有額回答が提示された。昨年同額を上回った分会は10分会、昨年同額が10分会となっている。85分会が回答待ちである。有額回答平均3,005円で、昨年の妥結平均額3,999円を下回っている。
 - ③ 158分会中102分会に有額回答が提示された。妥結は70分会で、妥結平均額は、2,860円率で、1.04%となっている。(昨年の妥結平均額は、3,999円となっている)
- (2) 日港労連
 - ① 2月17日(水)13:00から東京芝浦会館において第1回港荷労使交渉を行った。港荷景況は「賃上げには応じない」とゼロ回答示した。中央闘争委員会は、21春闘賃上げに関する各個別労使対角線交渉を指示した。なお、賃上げ要求は基準内月額賃金20,000円及び6%引き上げ(基準内として)を要求している。
 - ② 4月2日に開催した、第3回港荷労使再開交渉で、労側より、2,500円の賃上げ回答を宣言した。これを受け、4月8日17時を期限として、各単組協定交渉へ下ろした。
 - ③ 4月9日に第4回港荷労使交渉を開催し、労側より各単組間において労使確認が整ったことから、仮協定を締結し、妥結した。
- (3) 検数労連
 - ① 2月18日に第1回交渉を行い、要求書の提出を行い、回答指定日を3月25日とした。スト権集約は終了した。なお、要求は、本給一律20,000円とした。

② 4月5日第5回交渉で有額回答を提示した。日検が定昇2,491円、全日検が定昇1,300円。要求との関係で不満を表明、次回交渉で、ベースアップを含めた回答の提示を求めた。

③ 4月23日の交渉で合意し、機関手続きに入った。日検で、3,664円(前年比+199円) 全日検は、3,512円(前年比+250円)となつた。なお、次回交渉は4月28日。

(4) 検定労連 ① 要求書提出は、3月2日とし、スト権集約は2月末日。なお、賃上げは6%要求とした。海事検定職組一人平均18,475円(6%)を要求、シンケン労組組合員一人平均17,456円(6%)を要求。

② 3月31日に労連団交を開催。ベアを前提に単組交渉に移行した。来週から、交渉に入る。

③ (株)シンケンは4月13日、組合員平均4,092円で妥結した。海事検定職組は、現在交渉中。

(5)全倉運 ① 5%+ α を統一要求基準とし、統一要求書提出日は3月10日(水)、統一回答指定日を3月24日(水)とした。

② 26単組に有額回答、単純平均で4,460円(1.69%)、加重平均で4,755円(2,968人)となっている。

③ 31組合に有額回答、単純平均で、4,468円(1.69%)、加重平均で4,834円(3,665人)となっている。(前年度妥結額:単純平均4,736円/加重平均4,931円)

(6) 大港労組 ① 基準内賃金月額20,000円を要求。2月25日(木)に第1回団交を開催し、要求書主旨説明を行った。次回は3月15日(月)を予定。

② 3月29日第3回団交を開催、ゼロ回答だった。次回団交を4月8日に開催予定。

③ 4月19日に第6回船内統一交渉を開催し、最終的に3,000円(昨年比-1,000円)で妥結した。

(7) 全日通 ① 要求書提出は2月15日(月)で、賃金10,800円の増額、一時金年間(夏季・年末合わせて)5か月、回答指定日は3月5日(金)、山場は3月18日(木)とした。

② 3月18日妥結。賃金3,470円(税込み/1.32%)、一時金は年間3,500カ月(夏、1,819カ月・冬、1,681カ月)

以上